



# 神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより

令和4年7月14日 No9

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】

郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、  
たくましく生きる児童・生徒の育成

・進んで学ぶ子

・思いやりのある子

・元気な子

・ふるさと大好き神内っ子



## 学校運営協議会～地域と共に～

学校運営協議会とは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、学校と保護者や地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組み、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくためのものです。小中一貫校で設置し、各校7名ずつ、学校、教育委員会関係者を含めて29名で構成されています。

第1回学校運営協議会が5月下旬に笠岡東中学校で開催され、第2回の会が7月5日に神内小学校で開催されました。今回は、それぞれの学校で各校代表の委員で行いました。

授業参観の後は、学校教育について、地域学と非認知能力について報告し、意見を伺いました。その中で、どの学年も落ち着いて学習に取り組んでいること、一人一台端末を容易に使っている様子に感心されていました。非認知能力については、それぞれの学年の背面掲示板に学期の目標と自己評価をしている点が話題に上がりました。地域学については、えひめ AI を子どもたちと一緒に作ることができることや、漁協の体験も参考になることなど助言をいただきました。

熟議として、「地域防災」について話し合いました。令和2年に笠岡市が体育館横に設置した備蓄倉庫を開けて避難食などを確認しました。アルファ米400食、水500ml48本、段ボールパーティション5、非常用毛布10枚、ブルーシート2枚で、広くスペースが空いている状態でした。また、体育館や校舎のトイレの入り口が狭く、車椅子が入ることができないという構造的なこともあり、防災については神島地区全体と笠岡市が連携して取り組んでいくことが大切だと感じました。現在、この先30年以内に大きな地震が起きると言われており、日本のどこに住んでいても対応できる力を身に付けておくことが大切です。学校でも、避難所生活を想定した防災教育を行う必要性を感じました。

## 図画工作 鑑賞

3年生の図画工作の時間です。それぞれが製作した「くるくるランド」の作品の鑑賞をしていました。「色の使い方がいいですね。」「虹がきれいでみんなが楽しめるね。」「動物たちが楽しそうでかわいいですね。」など、感じたことを紙片に書いて椅子に貼っていました。その紙を画用紙に貼っていきます。音楽が流れていて、子どもたちはゆったりした雰囲気の中で鑑賞をしていました。お互いのよいところを見つけてほめるということが、学級づくりに生かされています。



## 友達の発表を聞く態度 ◎



聞く時の態度がステキです。発表する人の方に体をサツと向け、発表する人を見て、しっかり聞くことができます。話をしっかり聞くことで思考や理解が進むことに加え、『仲間に関心を持つ』ということが学級のまとまりを作っています。「〇〇だと思います。いいですか。」「いいです。」「ちょっと付け足しがあります。」と、話がどんどん深まっていました。